

1. NT620Cリプレース&リニューアル

NT620C (STNカラー) は以下の形式に置き換えます。

- ・リプレース : NT631C-ST153(B)-V3 (TFT 対応)
- ・リニューアル : NS8-TV00(B)-V2

1-1: リプレース編 (NT631Cに置き換え)

< 置き換えに際しての注意点 >

外形寸法がNT631Cの方が大きいため既存NT620C制御盤へ取り付けの場合は、パネルカットを大きくする必要があります。

詳細はP8の「1-1-4-2」 [1.パネルカットの変更](#) を参照願います。

表示部液晶が9.4インチSTN (NT620C) から10.4インチTFT (NT631C) に変更になりますので、見栄えが変わります。

NT620CのDAC機能をお使いの場合は、NT631Cのデバイスモニタ機能をご使用願います。

通信方式が「安川製MEMOBUS」の場合、NT631Cは「安川製MEMOBUS」をサポートしていないためNT631Cへの置き換えができません。

置き換え対象機種

形式	通信方式
NT620C-ST142(B)	上位リンク (RS-232C)
	NTリンク(1:1) (RS-232C)
	NTリンク(1:N) (RS-232C)
	メモリリンク (RS-232C)



リプレース推奨機種

形式	通信方式
NT631C-ST153(B)-V3	上位リンク (RS-232C)
	NTリンク(1:1) (RS-232C)
	NTリンク(1:N) (RS-232C)
	メモリリンク (RS-232C)

形式	通信方式
NT620C-ST142(B)	三菱A計算機リンク (RS232C/422A)



形式	通信方式
NT631C-ST153(B)-V3	三菱A計算機リンク (RS232C/422A)

形式	通信方式
NT620C-ST142(B)	安川製 MEMOBUS



形式	通信方式
NT631C-ST153(B)-V3	置き換えはできません

1 - 1 - 1 : NT620CとNT631Cの主な仕様について

NT620CとNT631Cの主な仕様は以下の通りです。

項目	NT620C-ST142(B)	NT631C-ST153(B)-V3
外形寸法(W、H、D)	275×196×76.8mm	315×250×54mm
推奨パネルカット寸法(横×縦)	263.5×180.5mm	303.0×238.0mm
表示デバイス	カラーSTN液晶	カラーTFT液晶
有効表示エリア(横×縦)	197×149mm (9.4インチ)	211×158mm (10.4インチ)
表示ドット数(横×縦)	640×480ドット	
視野角	上下±50° 左右±30°	上35° 下65° 左右:±60°
定格電源電圧	DC24V	
消費電力	20W以下	18W以下
使用周囲温度	0～40	0～50

NT620CとNT631Cに関しては以下の違いがありますのでご注意ください。

1) 外形寸法について

外形寸法はNT631Cの方が大きくなります。NT620Cが取り付けいていた制御盤内の部品と干渉しないか確認願います。

2) パネルカット寸法について

NT631CのパネルカットはNT620Cより大きくなりますので、NT631C置き換えかえの際は、制御盤のパネルカットを大きくする必要があります。

3) 表示部の見栄えについて

NT631Cは10.4インチのTFT液晶です。NT620Cは9.4インチSTN液晶ですので、画面の見栄えや視野角がかわります。(良い方向に変わります)

4) 電源について

電源と消費電力については、特に問題はありません。(NT631Cの方が消費電力が少ない為)

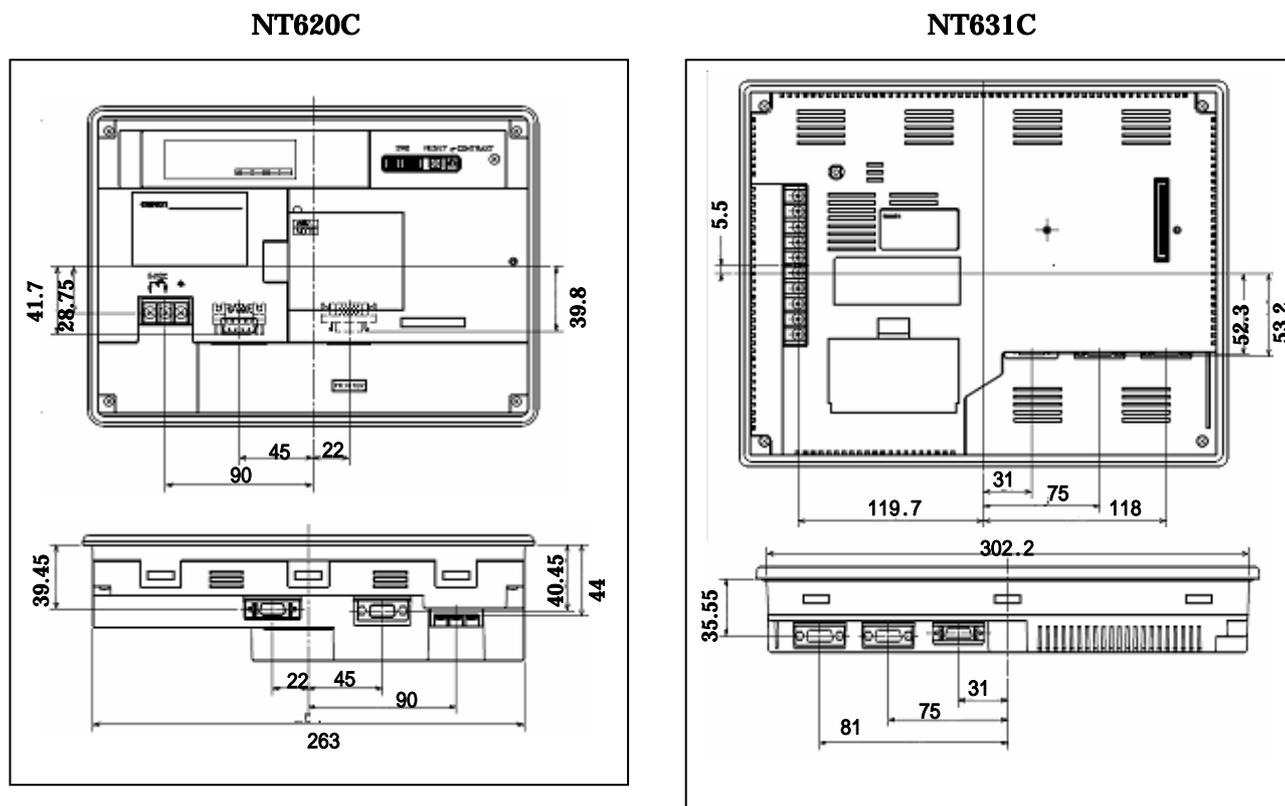
5) 盤内配線について

電源端子台や232Cコネクタの配置がNT620Cと異なっていますので、P3の「1-1-2:電源端子台と各コネクタの位置について」の寸法図を参考に配線の変更をお願いします。

1 - 1 - 2 : 電源端子台と各コネクタの位置について

NT620CとNT631Cでは電源端子台と各コネクタの位置が異なります。既存の盤内配線をそのまま使用する場合は、場合によっては配線の変更が必要になります。

下記寸法図を参考に盤内配線を考慮願います。



1 - 1 - 3 : NT620Cの画面データコンパートについて

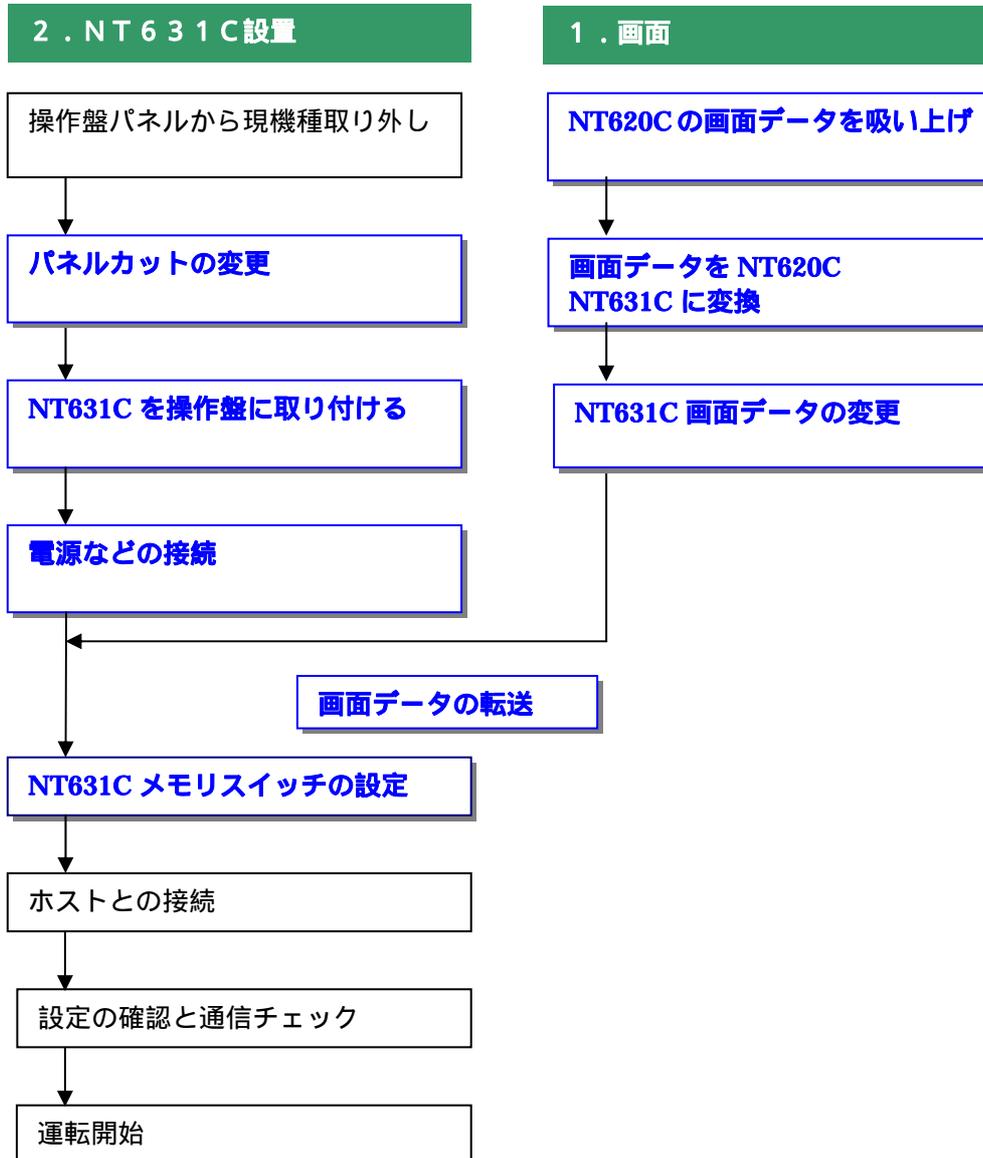
NT620CをNT631Cに置き換える場合、画面データをNT620CからNT631Cにコンバートする必要があります。NTサポートツール(Ver.3以降)にて、機種変更によりコンバートが可能です。画面によっては一部修正が必要な場合があります。

詳細はP6の「1 - 1 - 4 - 1) [3 . NT631C 画面データの変更](#)」を参照願います。

1 - 1 - 4 : NT 6 3 1 C へのリプレースの手順

NT 6 3 1 C へのリプレースは以下の手順に従って置き換えて下さい。

NT 6 3 1 C にリプレースするまでの手順



1 - 1 - 4 - 1) 画面の置き換えについて

画面の置き換えに際しては以下のサポートツールが必要ですのでご用意願います。

必要なツール

- ・ NT シリーズサポートツール Ver4 for Windows
形 NT-ZJCMX1-V4
- ・ パソコン接続ケーブル
RS-232C 接続ケーブル 形 XW2Z-S002
USB シリアル変換ケーブル 形 CS1W-CIF31

1. NT 6 2 0 C の画面データを吸い上げ



1. NT 6 2 0 C とパソコンを接続します。
2. NT サポートツール側の通信設定をします。
メニューバーから [接続] 通信設定を選択し通信ポートと通信速度を設定します。



通信 Port の COM1 ~ COM 8 を選択します

通信速度を選択します。

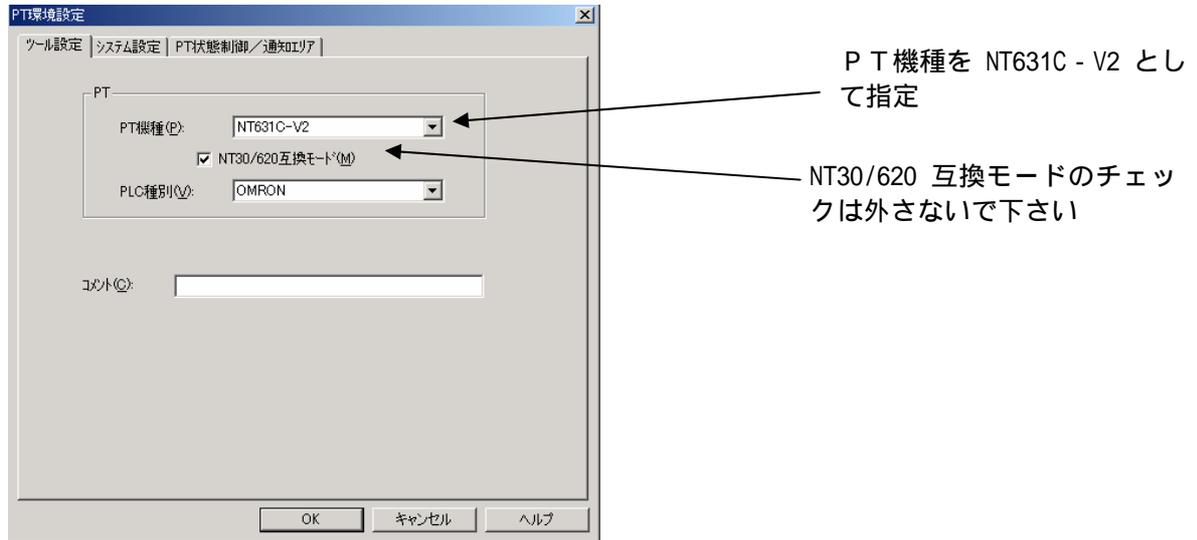
3. NT 6 2 0 C を転送モードにします。
NT 6 2 0 C の画面の 4 隅のうち任意の 2 点を同時に押してシステムメニューに入り、
[転送モード] を選択して、転送モードメニューを表示して「サポートツール転送」を
選択します。
4. NT サポートツールで画面データをアップロード
メニューバーから [オプション] [アップロード] を選択し全画面をアップロードします。
アップロードが終了した後、ファイルを保存します。

NT 6 2 0 C の DOS 版の画面データが既にある場合は、NT サポートツール (Windows 版) にて、以下の操作を行ってください。

[ファイル] [DOS 版データのインポート] にてインポート後に、次ページのように NT 6 3 1 C に機種変更する。

2 . 画面データを NT620C NT631C に変換

- ・メニューバーから[ツール] [PT 環境設定]を選択し、「ツール設定」タブを表示させて P T機種をNT 6 3 1 C - V 2に変更します。



3 . NT631C 画面データの変更

NT631C に変換した画面は、ハードウェア上の機能の相違により以下の点で画面修正が必要になります。変換後の画面を確認の上、画面修正をしてください。

画面修正が必要な項目

- ・画面描画の上下関係
- ・表示履歴画面（特に表示履歴画面の画面番号修正が必要）
- ・連続画面（タッチスイッチによる画面切り替えへの変更が必要）
- ・システムテンキー（サポートツールに付属のシンボルマネージャー、部品集からの登録が必要）
- ・文字列中の制御コード（00H、0AH が含まれないように修正が必要）
- ・ビットメモリテーブルの設定（画面切り替え機能の修正が必要）
- ・タッチスイッチからはみ出すガイド文字（ガイド文字の位置・色の修正が必要）
- ・タッチスイッチ / ランプと固定表示の重ね合わせ（色の修正が必要）



画面データの相違点についての詳細は、次のマニュアルを参照ください

- ・「NTシリーズサポートツール オペレーションマニュアル (SBSA-510)」
付1「データの変換」
- ・「NT 3 1 / 6 3 1 シリーズ リファレンスマニュアル (SBSA-508)」
付2「他 P T 機種用画面データとの互換性」
付3「NT 3 0 / 6 2 0 互換モード」

4 . 画面データの転送

NT631Cに以下の手順で画面を転送します。

- 1 . NT631C を転送モードにします。
画面の 4 隅のうち任意の 2 点を同時に押してシステムメニューに入り、
[転送モード]を選択して、転送モードメニューを表示して「サポートツール転送」を
選択します。
- 2 . NTサポートツールからダウンロード
メニューバーから[オプション] [ダウンロード]を選択し全画面をダウンロードします。

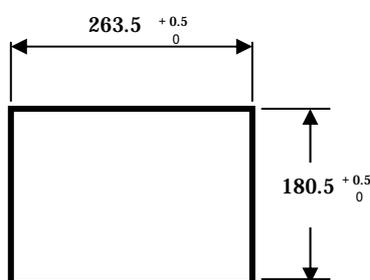
1 - 1 - 4 - 2) NT631Cの設置について

NT631Cを制御盤に取り付け、PLCと接続します。

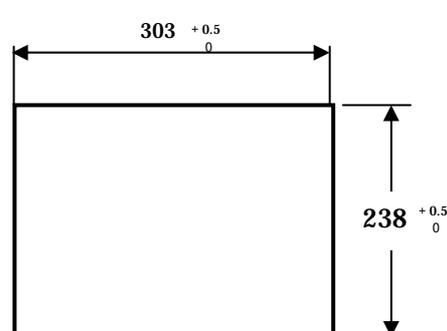
1. パネルカットの変更

NT631CはNT620Cと比べサイズが大きいため、パネルカット寸法も大きくなっています。NT620Cが取り付いていた制御盤にそのまま設置する場合は、パネルカット寸法を大きくする改造が必要になります。

NT620C 推奨パネルカット寸法



NT631C 推奨パネルカット寸法



2. NT631Cの操作盤への取り付け

NT631Cを制御盤へ取り付けます。取り付けはNT631C付属の専用取り付け金具を使用します。

3. 電源などの接続

NT620CとNT631Cは電源端子台やコネクタの位置が異なります。

P3の「1 - 1 - 2: 電源端子台と各コネクタの位置について」を参照し、電源線や通信ケーブル等の接続をします。

4. NT631Cメモリスイッチの設定

PLCとの通信方式などの設定をメモリスイッチにて設定します。

メモリスイッチ設定

- ・ NT631Cの画面の4隅のうち任意の2個を同時に押して、「システムメニュー」に入ります。
 - ・ 「システムメニュー」の画面の「保守モード」を押します。
 - ・ 「保守モード」メニューの「メモリスイッチ」を押します。
 - ・ メモリスイッチで通信方式などのPT動作条件を設定します。
- 設定内容の詳細については「NT631 NT631C セットアップマニュアル (SBSA-507)の6章「システムメニューの操作」を参照ください。

1 - 2 : リニューアル編 (NS 8 に置き換え)

< 置き換えに際しての注意点 >

NS 8 は NT 6 2 0 C よりも外形が小さく、表示部も 9 . 4 インチ (NT620C) から 8 . 4 インチ (NS8) になりますので、見栄えが変わります。

NT 6 2 0 C の制御盤に NS 8 を取り付ける場合は、専用のアタッチメント (形 NS8-ATT01) が必要です。

通信方式がメモリリンクでは NT620C と NS8 の通信コマンドが異なっていますので、ホスト側のプログラムの変更が必要になります。

詳細は P 2 0 の「 1 - 2 - 4 - 2) 2 . メモリリンクホスト側プログラムの変更 」を参照ください。

NS 8 は消費電力が NT 6 2 0 C より増加しますので、電源容量に不足が発生しないようにしてください。

NT と NS では電源端子台や各コネクタの配置が異なりますので、場合によっては配線の変更が発生します。詳細は P 1 1 の「 1 - 2 - 2 : 電源端子台と各コネクタの配線について 」を参照願います。

NT 6 2 0 C の DAC 機能をお使いの場合は、NS 8 のデバイスモニタ機能をご使用願います。通信方式が「安川製 MEMBUS 」の場合、NS 8 は「安川製 MEMOBUS 」をサポートしていないため NS 8 への置き換えができません。

通信方式が三菱 A 計算機リンクの場合、NT 6 3 1 C は「三菱 A 計算機リンク 」をサポートしていないため NS 8 への置き換えができません。

置き換え対象機種

形式	通信方式
NT620C-ST142(B)	上位リンク (RS-232C)
	NT リンク (1 : 1) (RS-232C)
	NT リンク (1 : N) (RS-232C)
	メモリリンク (RS-232C)



リニューアル推奨機種

形式	通信方式
NS8-TV00(B)-V2	上位リンク (RS-232C)
	NT リンク (1 : 1) (RS-232C)
	NT リンク (1 : N) (RS-232C)
	メモリリンク (RS-232C)

形式	通信方式
NT620C-ST142(B)	三菱 A 計算機リンク (RS232C./422A)



形式	通信方式
NS8-TV00(B)-V2	置き換えできません。

形式	通信方式
NT620C-ST142(B)	安川製 MEMOBUS



形式	通信方式
NS8-TV00(B)-V2	置き換えできません。

1 - 2 - 1 : NT620CとNS8の主な仕様について

NT620CとNS8の主な仕様は以下の通りです。

項目	NT620C-ST142(B)	NS8-TV00(B)-V2
外形寸法(W、H、D)	275×196×76.8mm	232×177×48.5mm
推奨パネルカット寸法(横×縦)	263.5×180.5mm	220.5×165.5mm
表示デバイス	カラーSTN液晶	カラーTFT液晶
有効表示エリア(横×縦)	197×149mm (9.4インチ)	170.9×128.2mm (8.4インチ)
表示ドット数(横×縦)	640×480ドット	
視野角	上下±50° 左右±30°	上50° 下60° 左右:±65°
定格電源電圧	DC24V	
消費電力	20W以下	25W以下
使用周囲温度	0～40	0～50

NT620CとNS8に関しては以下の違いがありますのでご注意ください。

1) 外形寸法について

外形寸法はNS8の方が小さくなります。

2) パネルカット寸法について

NS8のパネルカットはNT620Cより小さくなります。NS8置き換えかえの際は、別売りのアタッチメント形NS8-ATT01(P22参照)を制御盤に取り付けることで既存のNT620CパネルカットにNS8を設置できます。

3) 表示部の見栄えについて

NS8は8.4インチのTFT液晶です。NT620Cは9.4インチSTN液晶ですので、表示サイズが小さくなりますが、TFTにより画面の見栄えがよくなります。

4) 電源について

電源電圧は同じですが、NS8の消費電力は25W以下とNT620Cの20W以下に対して増加します。電源容量に不足が発生しないようにしてください。

5) 盤内配線について

電源端子台や232Cコネクタの配置がNT620Cと異なっていますので、P11の「1-2-2:電源端子台と各コネクタの位置について」の寸法図を参考に、配線の変更をお願いします。

6) メモリリンクについて

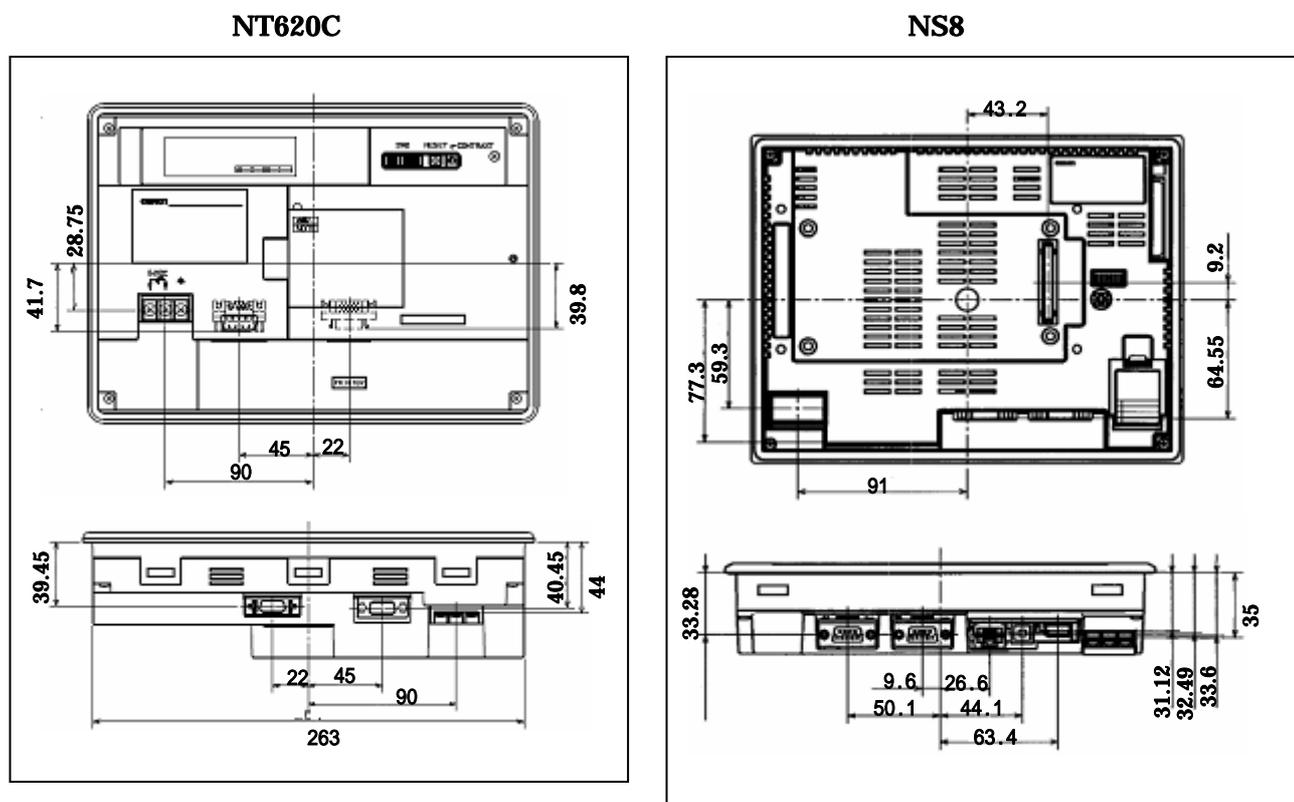
メモリリンクとは、PTとパソコンやマイコンボードの上位機器間でマンドによる通信をする方式です。

NT620CとNS8とでは、PT内部のメモリ構成と通信コマンドが異なります。このため、ホスト側のプログラム変更が必要になります。

1 - 2 - 2 : 電源端子台と各コネクタの位置について

NT620CとNS8では電源端子台と各コネクタの位置が異なります。既存の盤内配線をそのまま使用する場合は、場合によっては配線の変更が必要になります。

下記寸法図を参考に盤内配線を考慮願います。



1 - 2 - 3 : NT620Cの画面データコンパートについて

NT620CをNS8に置き換える場合、以下のルートでNS8に画面コンパートします。

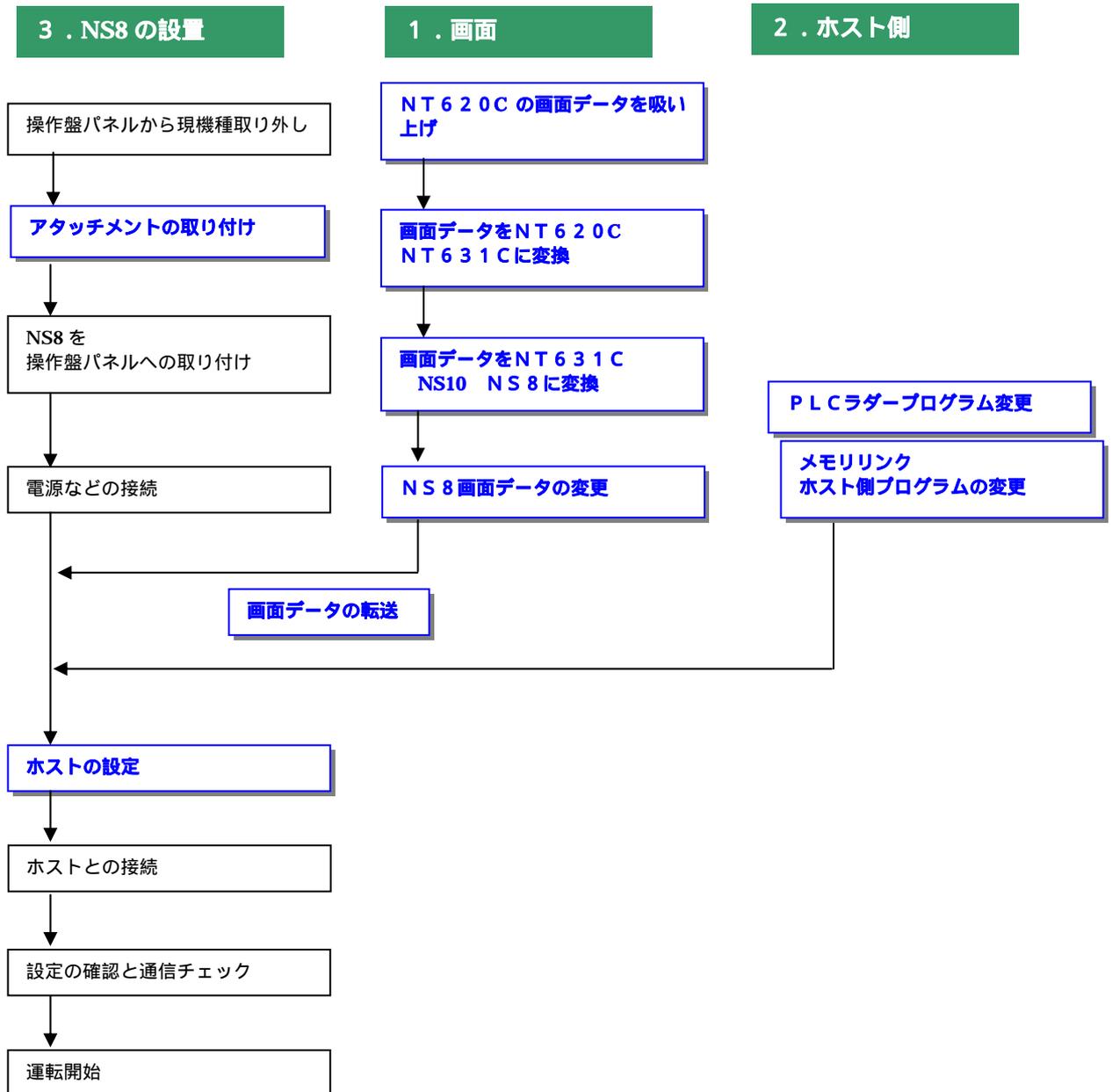
NT620C NT631C NS10 NS8

詳細はP13の「1 - 2 - 4 - 1) : 画面の置き換えについて」を参照願います。

1 - 2 - 4 : NS 8 へのリプレースの手順

NS 8 へのリプレースは以下の手順に従って置き換えて下さい。

NS 8 にリニューアルするまでの手順



1 - 2 - 4 - 1) : 画面の置き換えについて

画面の置き換えに際しては以下のサポートツールが必要ですのでご用意願います。

必要なツール

- ・ NT シリーズサポートツール Ver4 for Windows
形 NT-ZJCMX1-V4
- ・ NS 用作画ツール CX-Designer
形 NS-CXDC1-V1
- ・ パソコン接続ケーブル
RS-232C 接続ケーブル 形 XW2Z-S002
USB シリアル変換ケーブル 形 CS1W-CIF31

1 . NT 6 2 0 C の画面データを吸い上げ



P 5 の「 1 - 1 - 4 - 1)」と同じ手順で画面データを吸い上げてください。

2 . NT 6 2 0 C NT 6 3 1 C 画面データの保存

1 . NT 6 2 0 C NT 6 3 1 C 画面変換

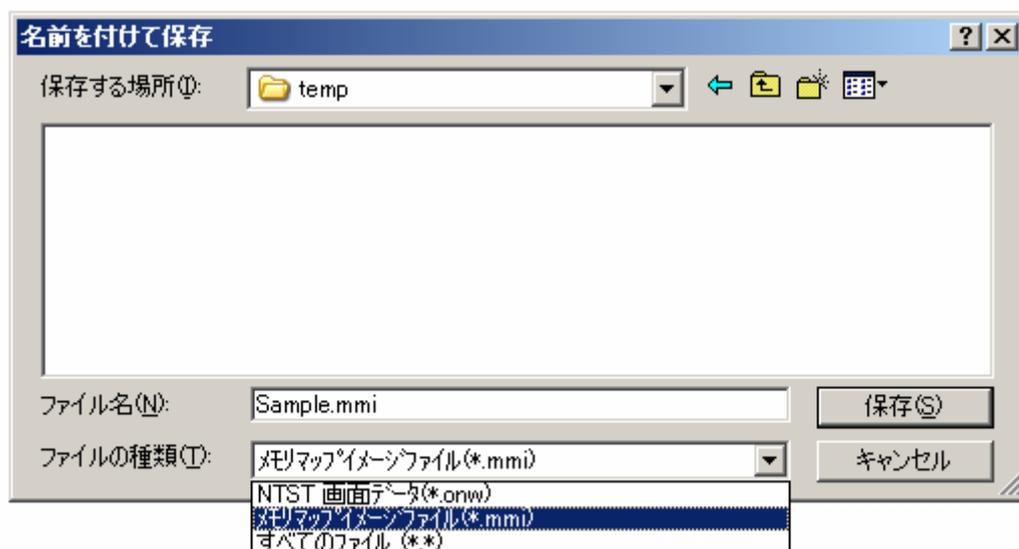
P 6 の「 1 - 1 - 4 - 1)」と同じで手順で NT 6 2 0 C 画面データを NT 6 3 1 C に変換して下さい。

2 . 画面データの mmi 形式保存

上記にて変換した NT 6 3 1 C 画面データを以下の手順で mmi 形式のファイルに保存して下さい。

(当ガイドでは、 **Sample.mmi** として保存しています。)

- ・ 「ファイル」 「名前をつけて保存」でファイルの種類を「メモマップイメージファイル(.mmi)」とします。



3. 画面データをNT631C NS10 NS8に変換

P13の [2.NT620C NT631C画面データの保存](#) にて保存した NT631C 画面データ (.mmi 形式) を以下の要領でまず NS10 に変換します。
(NT631C NS10画面に変更した後、NS10 NS8に画面変換します。)

1. NT31C_NT631C変換支援ツールの起動

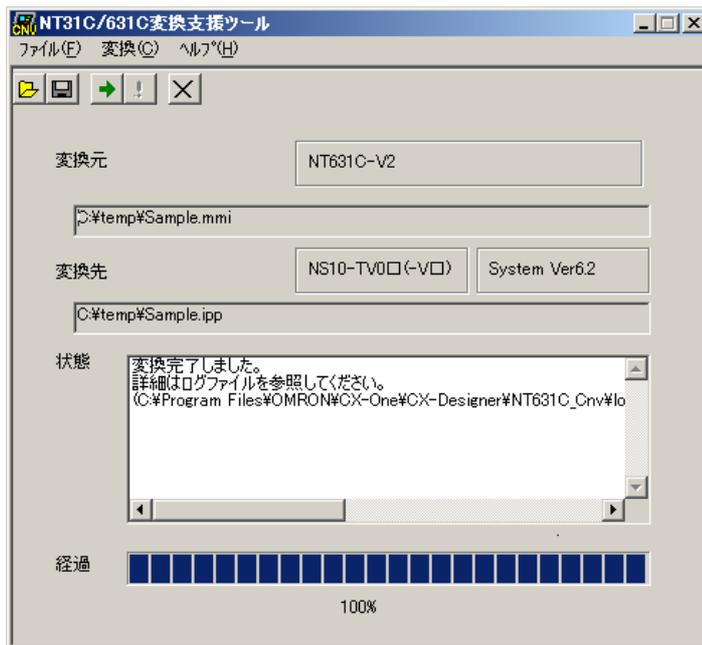
「NT31C_NT631C変換支援ツール」を次の手順で起動します。

- ・[CX-One をインストールした場合]
「スタートメニュー」 「全てのプログラム」 「Omron」 「CX-One」 「CX-Designer」
「NT31C_631C 変換支援ツール」
- ・[CX-Designer 単体をインストールした場合]
「スタートメニュー」 「全てのプログラム」 「Omron」 「CX-Designer」
「NT31C_631C 変換支援ツール」



2. NT631C NS10画面コンバート

- 「ファイル」 「変換元ファイルを開く」で、P13の [2.NT620C NT631C画面データの保存](#) にて保存した拡張子 mmi ファイル (Sample.mmi) を選択する。
- 「ファイル」 「変換後ファイルの保存先」にてファイルの保存先とファイル名を指定する。(Sample.ipp)
- 「変換」 「**変換実行**」にて変換を開始する。



変換元ファイル名と変換先ファイル名をCドライブのtempフォルダのファイル「Sample」として例示しています

「NT31C_NT631C変換支援ツール」を終了します
変換完了後、「x」ボタンを押します。

3. 「CX-Designer」を起動

「CX-Designer」を起動します。

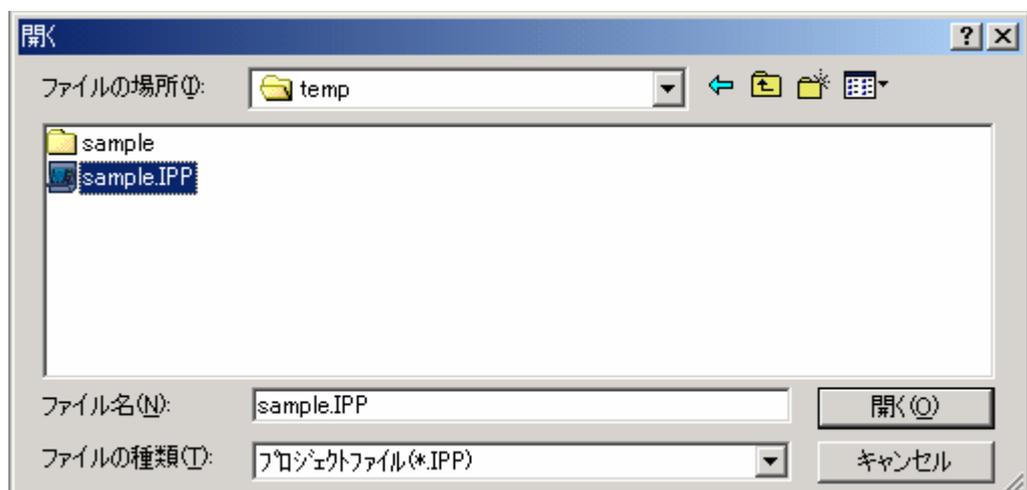
- ・ [CX-One をインストールした場合]
「スタートメニュー」 「全てのプログラム」 「Omron」 「CX-One」 「CX-Designer」
- ・ [CX-Designer 単体をインストールした場合]
「スタートメニュー」 「全てのプログラム」 「Omron」 「CX-Designer」

4. NS10 NS8画面コンバート

NS10画面を「CX-Designer」にてNS8に変換します。

NS10画面のプロジェクトを開きます。

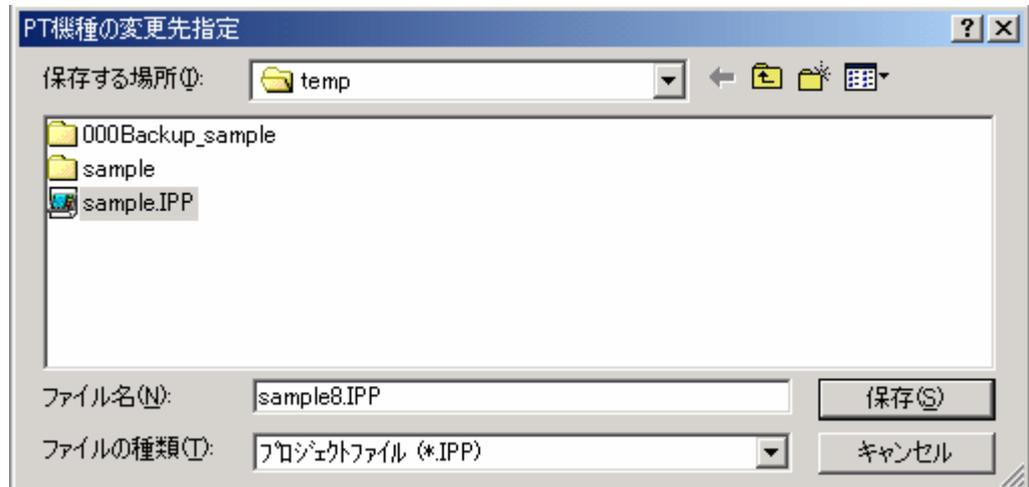
[ファイル] [プロジェクトを開く]にてP14の「2. NT631C NS10画面コンバート」でNS10に変換したファイル (Sample.ipp) を指定し、[開く]を押します。



NS10 NS8に機種変更します。

[ツール] [コンバート] [機種]にて[NS8-TV0 -V2]を選択します。

変更先のファイル名(例: Sample8.ipp)を指定し、「保存」を押します。



4 . NS 8 画面データの修正

NT620C画面データがNS8画面データに変換されましたが、NT620CとNS8では互換性がない箇所がありますので、変換後のNS8の画面データの修正が必要になります。修正箇所に関しては、付録「NT NS画面変換後の注意点」を参照願います。

5 . 画面データの転送

CX-Designerにて上記の修正画面をNS10に転送します。

転送方法を選択します。

[PT] - [転送] - [転送設定]にて通信方式(USB、Serial等)を選択します。

画面データを転送します。

[PT] - [転送] - [転送[パソコン PT]]を選択します。

1 - 2 - 4 - 2) : ホスト側プログラムの変更について

ホスト側が PLC のとき

1 . PLC ラダープログラム変更

PTにはPLC - PT間で情報をやり取りするエリアがあります。この情報をやり取りするエリアを、NTシリーズでは「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」、NSシリーズでは、「システムメモリ」と呼びます。

NTシリーズの「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」とNSシリーズの「システムメモリ」では、メモリ構成に違いがあります。

システムメモリの違いによるラダープログラムの変更

ラダープログラムで、「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」を参照している場合には、NSのシステムメモリの構成にあわせてラダープログラムを変更してください。

NT620Cの「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」とNSシリーズの「システムメモリ」の対応関係は次表を参照ください。

尚、NSシリーズには各種メモリテーブルがありませんので、メモリテーブルコピー等の一部の機能に関しては、ラダープログラム側で実現する必要があります。

PT状態制御エリアの対応表

PLCのCH	NT620Cの割付	NSのシステムメモリ
n	画面番号：画面切替指定 (注1) (BCD4桁)	\$SW0 (画面切替指定 + 表示中画面番号) (注1)
n+1	コピー元メモリテーブル番号 (BCD3桁)	(機能なし)
n+2	コピー先メモリテーブル番号 (BCD3桁)	(機能なし)
n+3	PT状態制御ビット	\$SB* 次ページの「PT状態制御ビットの 対応表」を参照して下さい。

注1) NT620Cの画面を当置き換えガイド手順でNS8にコンバートしますと、NT620Cの「PT状態制御エリアのnCH」アドレスが自動的にNSのシステムメモリ「\$SW0」アドレスに割付られます。

NT620Cの場合は、コマンドボタン等により画面を切り替えた時は「PT状態通知エリア mch」に画面番号が反映されます。(P19参照)

NSの場合は、コマンドボタン等により画面を切り替えた時は、画面切替指定と同じ\$SW0に画面番号が反映されます。即ち、NSシステムメモリ「\$SW0」は、NT620Cの画面切替指定 + 表示中画面番号(「PT状態通知エリア mch」)をミックスした動きになります。

NT620C用ラダーで「表示中画面番号」を検出している場合は、NS置き換え時にラダーの修正(\$SW0アドレスで検出するように変更)をお願いします。

PT状態制御ビットの対応表

ビット	NT620Cの状態制御ビット	NSのシステムメモリ
15	画面表示 する/しない	\$SB9
14	処理の優先登録 登録/解除	(機能なし)
13	連続ブザー 鳴らす/止める	\$SB12
12	断続ブザー(短音) 鳴らす/止める	\$SB13
11	表示履歴初期化 する/しない	(機能なし)
10	未使用:常に0	-
9	断続ブザー(長音) 鳴らす/止める	\$SB14
8	未使用:常に0	\$SB10
7	画面印刷 する/しない	\$SB25 / \$SB26
6	PTウィンドウオープン 禁止/許可	(機能なし)
5	数値・文字列入力 禁止/許可	\$SB19
4	未使用:常に0	-
3	未使用:常に0	-
2	未使用:常に0	-
1	未使用:常に0	-
0	未使用	-

ホスト側がパソコンやコンピュータで、メモリリンクで通信しているとき

2. メモリリンクホスト側プログラムの変更

メモリリンクとは、ホスト側のパソコンやマイコンボードとPTとの間の通信をコマンドで行う方式です。NTシリーズとNSシリーズとでは、PT内部のメモリ構成と通信コマンドが異なりますので、リニューアルに際してはホスト側のプログラムの変更が必要です。

通信コマンドの違いによるホスト側プログラム変更

NT620CとNSシリーズとの「PT内部のメモリ構成」と「メモリリンクコマンド」の違いを次表の比較表で示します。

NSシリーズには各種メモリテーブルがありませんので、各種メモリテーブルの読出/書込等は直接PTメモリの読出/書込コマンドを使ってNT620Cと同じ動きをするようにホスト側プログラムを変更してください。

PT内部のメモリ構成比較表

PTメモリ	NT620C		NSシリーズ		
	接点 チャンネル	共通 0000 ~ 9999	接点 チャンネル	\$B0~32767 \$W0~32767	\$HB0~8191 \$HB0~8191
メモリテーブル	数値メモリテーブル 文字列メモリテーブル ビットメモリテーブル		なし		
バッテリー バックアップ	される		されない		される

メモリリンクコマンド

	NT620C	NSシリーズ
RM	PTメモリ読出	PTメモリ(\$W)読出
RB	-	PTメモリ(\$B)読出
RN	数値メモリテーブル読出	(コマンドなし)
RS	文字列メモリテーブル読出	(コマンドなし)
WM	PTメモリ書込	PTメモリ(\$W)書込
WB	-	PTメモリ(\$B)書込
WN	数値メモリテーブル書込	(コマンドなし)
WS	文字列メモリテーブル書込	(コマンドなし)
FM	PTメモリ一括書込(FILL)	PTメモリ(\$W)一括書込(FILL)
FS	-	PTメモリ(\$B)一括書込(FILL)
CN	数値メモリテーブルクリア	(コマンドなし)
CS	文字列メモリテーブルクリア	(コマンドなし)
ST	タッチスイッチ入力通知	(コマンドなし)
SN	数値入力通知	(コマンドなし)
SS	文字列入力通知	(コマンドなし)
PM	ダイレクトエリア変更通知	(コマンドなし)

SM	-	P Tメモリ (\$ W) 変更通知
SB	-	P Tメモリ (\$ B) 変更通知
RR	再送要求	(コマンドなし)
ER	エラーレスポンス	エラーレスポンス
RD	-	P Tメモリ (\$ H W) 読出
RH	-	P Tメモリ (\$ H B) 読出
WD	-	P Tメモリ (\$ H W) 書込
WH	-	P Tメモリ (\$ H B) 書込
FD	-	P Tメモリ (\$ H W) 一括書込 (FILL)
FH	-	P Tメモリ (\$ H B) 一括書込 (FILL)
SD	-	P Tメモリ (\$ H W) 変更通知
SH	-	P Tメモリ (\$ H B) 変更通知

NT620Cメモリリンクコマンド詳細は「NT620C 1-ザ-ズマニュアル(SBPA-579E) 6-3:コマンドレスポンス」を参照願います。

NS8メモリリンクコマンド詳細は「NSシリーズホスト接続マニュアル(SBSA-518) 3-3:通信手順」を参照願います。

1 - 2 - 4 - 3): NS 8 の設置について

NS 8 を制御盤に取り付け、PLC と接続します。

1 . アタッチメント (NS8 - ATT01) の取り付け

NS 8 は NT 6 2 0 C と比べサイズが小さく、パネルカット寸法も小さくなっています。
NT 6 2 0 C が取り付いていた制御盤に NS 8 を取り付ける場合は、下記のアタッチメントを制御盤に取り付けた後、NS 8 を取り付けて下さい。

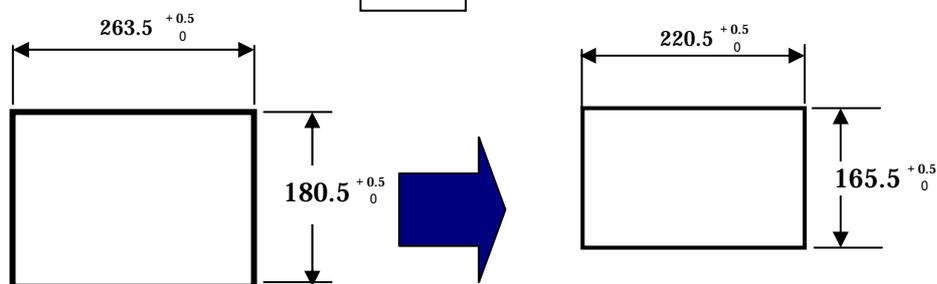
NT 6 2 0 C NS 8 用アタッチメント：形 NS 8 - A T T 0 1

パネルカット寸法の違いとアタッチメント

NT620C 推奨パネルカット寸法

+ 公差
- 公差

NS 8 推奨パネルカット寸法



NS8 取り付け用アタッチメント
形 NS8-ATT01



2 . NS 8 の操作盤への取り付け

アタッチメントを取り付けた後、NS 8 を取り付けます。
取り付けは NS 8 付属の専用取り付け金具を使用します。

3 . 電源などの接続

NT 6 2 0 C と NS 8 は電源端子台やコネクタの位置が異なります。
P 9 の「1 - 2 - 2 : 電源端子台と各コネクタの位置について」を参照し、電源線や通信ケーブル等の接続をします。

4 . NS 8 の通信設定

PLC との通信方式等の通信設定を NS 本体のシステムメニューで設定します。

システム設定

- ・ NS 本体のタッチパネルの 4 隅のうち任意の 2 個を同時に押し「システムメニュー」に入ります。
- ・ 「システムメニュー」の画面の「通信設定」タブを押します。
- ・ 通信方式や通信条件を設定します。
- ・ 通信以外にも PT 動作にかかわる各種設定を行います。

設定内容の詳細については「NS シリーズセットアップマニュアル (SBSA-517) の 6 章「システムメニューの操作」を参照ください。

補足：通信設定やシステム設定は、CX-Designer のプロジェクトワークスペースの「通信設定」、「システム設定」で設定することができます。